

【河川】第3回高瀬川大規模氾濫時の減災対策協議会を開催しました！

(中小河川等の水防災意識社会の再構築を踏まえ、新たに十和田市・六戸町が参加)

平成29年7月3日(月)
高瀬川河川事務所

1. 概要

- 高瀬川で発生しうる大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国が連携して、減災のための目標を共有し、対策を一体的かつ計画的に推進するため、H28年5月13日に減災対策協議会を設立しています。
- 第3回協議会では、新たに十和田市・六戸町が参加し、「逃がす・防ぐ・取り戻す」ための取組を進め、防災意識向上や被害最小化を図るため、関係機関が5ヶ年で取り組むべき内容を定めた「地域の取組方針」のフォローアップを実施しました。

2. 日時／実施状況

- ・日 時：平成29年7月3日(月)
- ・場 所：小川原湖交流センター「宝湖館」 1階多目的ホール
- ・出席者：十和田市(市長)、三沢市(市長)、七戸町(町長)、六戸町(町長：欠席)、東北町(町長)、六ヶ所村(村長代理：副村長)、青森地方气象台(台長)、青森県 県土整備部(部長代理：県土整備部河川砂防課長)、青森県 危機管理局(局長代理：危機管理局次長)、高瀬川河川事務所(所長)

関係機関 約30名が参加



議事内容

- ・(1)規約改正、(2)幹事会の報告の説明
⇒異議なし
- ・(3)高瀬川の減災に係る取組方針(案)フォローアップの説明
⇒説明後に意見交換、出席委員からご発言

3. 主な意見・コメント等

- ・水位観測所のない支川等においても避難計画の策定など住民対応が必要なことを理解。
- ・出水時において、河口の閉塞をさせないことが重要。
- ・ダムの効果により洪水が少なくなったが、河道内に樹木が繁茂してきており、洪水時の流れが悪くなっている。
- ・昨年の出水等から、避難準備情報・避難勧告を出すタイミングが難しい、アドバイスのサポートをお願いしたい。
- ・下流域では降雨が終了しても流域の水が集まってくる。国・県・市町村の連携を良くしていきたい。



十和田市長



三沢市長



七戸町長



東北町長



六ヶ所村長(代理：副村長)



青森県県土整備部長
(代理：河川砂防課長)



青森県危機管理局長
(代理：危機管理局次長)



青森地方气象台長



高瀬川河川事務所長